

射水市芸術文化施設指定管理者候補者 選定委員会 会議録

1 開催日時

令和6年10月28日（月） 午後1時30分～午後4時

2 開催場所

本庁舎2階 会議室201

3 出席者

委員 櫛岡委員、藤井委員、沖委員、星野委員、菅原委員

事務局 市民活躍・文化課

応募者（出席者）

（1）新湊中央文化会館及び小杉文化ホール

公益財団法人射水市文化振興財団

（2）大島絵本館

公益財団法人射水市絵本文化振興財団

（3）陶房「匠の里」

株式会社ジャパン・フラワー・コーポレーション

4 欠席者 なし

5 会議記録

（1）新湊中央文化会館及び小杉文化ホール

① 質疑応答

委員 令和5年の増収の理由は何か。

応募者 令和5年度はコロナの影響による収入の減少と、光熱費等の高騰による経費の増大を見込んでいたため、指定管理料の不足を芸術文化振興事業の本数の減により対応することとしていた。

しかし、コロナの5類への移行による使用料の回復や、光熱費高騰に対する支援金の支給等により、減らした事業費の分だけ結果的に増収となった。

委員 事業計画に、賑わいの拠点という記載があるが、具体的にどのような事業を考えているのか。

応募者 現在も観光協会や国際交流協会と連携して事業を行っている。また、まちづくり協議会等ともう少し連携を深め、施設にとどまらず、周辺地域を含めて事業を行っていきたいと思っている。

委員 能登半島地震は本市にも大きな被害をもたらしたが、文化ホールはどのような状況だったのか。

応募者 施設の被害は比較的軽微なものが多く、修繕は完了している。

施設や設備に危険がないか確認をして、1月4日からは通常営業を行った。
なお、チケットの払い戻しや利用のキャンセルには無料で応じた。

委員 今後の災害や、避難所としての利用等を考えて、可能であれば職員に防災士等がいれば良いのではないかと思います。

委員 市内だけで考えるのではなく、隣接する富山市や高岡市の芸術文化施設と競い合ったり、連携したりして、魅力ある芸術文化活動を行っていただけるよう施設として頑張してほしい。

②審査結果

採点結果は合計364点。平等な利用も確保されており合計点数が300点以上であるため、公益財団法人射水市文化振興財団を指定管理者候補者とする。

(2) 大島絵本館

① 質疑応答

委員 子どもの数が減っている中で、来館者数増加のための新しい方策はあるか。

応募者 来館者を子どもに絞るのではなく、絵本に飢えている大人を対象に「大人の絵本時間」事業を今年から始めたところ、好評をいただいている。

また、来館30周年記念事業として2日間入館料を無料としたところ、1800人程の方にご来館いただき、それ以降入館者数が増加傾向となった。今後はより多くの人に施設を知ってもらうための事業も考えていきたい。

委員 来場者アンケートではどのような意見があり、どのように施設運営に反映されているのか。

応募者 施設関連のご意見であれば、来場者に不安を与えないような保守修繕を行ったり、事業関連であれば、要望のある絵本作家さんと交渉して原画展を開催するなど、可能な範囲で来館者のニーズに答えている。

委員 他に類を見ない、ユニークな施設であり、何度も訪れたいくなる魅力的な施設となるように頑張してほしい。

② 審査結果

採点結果は合計387点。平等な利用も確保されており合計点数が300点以上であるため、公益財団法人射水市絵本文化財団を指定管理候補者とする。

(4) 陶房「匠の里」

① 質疑応答

委員 資料を見る限りでは、貴社の経営状況に不安を感じてしまうが、経営の今後の見通しはどうなっているのか。

応募者 コロナの影響により、花の需要も供給も大きく下がったことで厳しい経営状態となったことは否めない。

現在は生産事業の強化や赤字店舗の閉鎖など経営の体質改善に取り組んでおり、グループ会社で健全資産も保有していることから、グループ全体としては問題ないと考えている。

委員 陶芸コースの多様化とは具体的にどのようなものを考えているのか。

応募者 新たな講師を呼んで、これまでの受講者や指導者も対象とした特別授業を行いたい。

委員 マルシェを開催するなど積極的に事業に取り組んでいるが、地元の農家や女性にも出店を促すなど、一層のイベント活性化をお願いしたい。

応募者 今年は初めての開催で、上手くいかない部分も多くあった。至らない点は改善し、よりよいイベントにしていきたい。

② 審査結果

採点結果は合計 368 点。平等な利用も確保されており合計点数が 300 点以上であるため株式会社ジャパン・フラワー・コーポレーションを指定管理者候補者とする。